

和歌山病院 ニュース

第14号

2004年6月発行

職員一同は、患者さまの権利と立場を尊重し、地域と密着した

【安心と信頼をいただける病院】

をめざします。



発行元

独立行政法人 和歌山病院
国立病院機構

〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
Tel 0738-22-3256 Fax 0738-23-3104
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/wakah/>



日高医師会との合同症例検討会風景

目次

- ◆ 結核病棟での取り組み 2
- ◆ 食事をしながら集団栄養指導 2
- ◆ 健康ビデオ放映中 3
- ◆ 看護の日を開催して 3
- ◆ 外来診療担当表 4
- ◆ 新任ドクターの紹介 4

結核病棟での取り組み

国立和歌山病院は、結核における県下の拠点病院としての役割を担っており、結核感染・感染対策についての正しい取り組みを普及させ、結核撲滅を目指して取り組んでいます。

平成13年度からは、保健医療施設の職員を対象とした結核研修会を年1回開催しています。

平成16年には、研修会の会場を国立和歌山病院から田辺市に移し、70名近い参加がありました。また、他医療機関（心の医療センター）での研修も開催しました。

平成17年3月からは、「結核の新しい退院基準」が国立病院一斉に導入されました。入院日数がかかり短縮されるため、受け皿となる地域に対し、結核感染・感染対策についての正しい知識の普及が更に必要となりました。まず、3月に院内で70名程の職員を対象に研修会を開催、5月には、新宮で開催し、55名の参加を得ました。また5月の開放型勉強会でも結核をテーマに取り上げる予定としています。今後は県内各地での研修会を計画しています。



入院日数短縮により、入院中の療養指導を短期集中型で実施していくことが必要です。そのために2週間目に退院目標を設定したクリティカルパス



を作成しました。またDOTS外来を開催（月2回）、退院した患者は、全員DOTS外来（結核病棟の看護師が担当）の受診をして、療養指導が受けられる体制をつくりました。退院後のパスも作成し、外来受診時に記載、保健所と共同で活用しています。

結核は、保健所との地域連携が重要であり、平成13年度からは、月1回DOTSカンファレンスを病院と保健所との共同で開催しています。患者が治療終了（6ヶ月以上の服薬が必要）まで服薬中断することがないように、入院中からDOTSを開始し、退院後も患者にあった服薬支援に取り組んでいます。平成17年度からは、DOTSカンファレンスをコフォート検討会とし、より一層治療終了までの患者の支援体制の強化を図り、早期に退院した患者への支援の充実を目指しています。

※DOTS…服薬時に、薬を飲み終わるまで患者さまのそばで看護師等が見届け、確認をすること。

一食事をしながら— 集団栄養指導

5月19日(木)にバイキング形式による食事をしながらの集団栄養指導(糖尿病教室)を開催しました。当日は、7名の方が来られ、参加



された方からは、「ただ聞くだけではなくて、実際に食事を選んで食べることで、より食事について理解できた。」「また、来てみたい。」という声が聞かれました。6月以降も引き続き開催しますので、興味の有る方は参加してみてください。



健康ビデオ－放映中

外来待合ホールでは健康に関するビデオを1日2回、放映しております。

放映時間は平日の10:00と13:00の2回、約25分間の放映となっています。



放映予定

心臓病の危険信号
不眠症のあなたへ

5月30日～6月3日
6月6日～6月10日

腰痛を解消するために
頭痛に強くなる
覚えておきたいがん知識

6月13日～6月17日
6月20日～6月24日
6月27日～7月1日

看護の日を開催して —看護の心をみんなの心に—

「看護の日」は、21世紀の高齢者社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かちあう必要があります。老若男女を問わず誰もが育むきっかけになるようにと、「看護の日」が制定され、今年で



15周年を迎えました。

「看護の心をみんなの心に」とキャッチフレーズのもとに5月11日、当院外来ホール、オークワロマンシティで「看護の日」を実施しました。行事内容として「身体計測」「健康相談」「介護用品展示」「パネル掲示」を行いました。

オークワロマンシティに来られた買物客で若い女性から高齢者までの幅広い年齢層の方々が身長、体重、血圧測定、体脂肪率など身体測定をしました。「久しぶりに身長を測り、年を経ると小さくなっている」と笑いながら話しをされる人。日常生活で血圧が気になり健康相談を受ける人。体脂肪率を気にする人が多く食生活について栄養士にアドバイスを熱心に受ける人。さまざま

な場面があり多くの人々が参加をされました。また、ポスター展示では「たばこは身体に害になるのでこの機会に禁煙します」と話された人「小児の救急処置」は、子供づれのお母さんからお孫さん連れのお年よりの方にまで大変好評でした。小さい子供さんには風船をプレゼントし親子で喜んでいただきました。



今回の行事を通し地域の方々と交流をもたせたこと、また、「健康に関する関心が高いこと」を再認識した一日でした。今後も、「看護の日」を通し広く一般の方々に、「看護」を身近に感じ、また健康について関心を高めていただけるように活動をしていきたいと思っております。



看護の日 実行委員

外来診療担当表

平成17年4月1日

総合外来	月	火	水	木	金
1 診	西村			西村	
外科	月	火	水	木	金
2 診	畑田	栗山	担当医	別所	有本
循環器科	月	火	水	木	金
3 診	楠山	石井	担当医	楠山	水越
5 診	豊田	猪野		猪野	豊田
8 診		水越			
呼吸器科	月	火	水	木	金
6 診	伊藤	乾	担当医	西山	小野
7 診	駿田	小野	西山	乾	畠
神経内科	月	火	水	木	金
8 診			河本(隔週) 三輪(隔週)		河本
睡眠外来	月	火	水	木	金
8 診					駿田(午後)
小児科	月	火	水	木	金
小児科	休診				
放射線科	月	火	水	木	金
放射線科		水川(予約制)		水川(予約制)	
検査室	月	火	水	木	金
超音波室	心エコー	心エコー	腹部エコー		心エコー
				心機能検査	
内視鏡室		内視鏡		内視鏡	

- 受付時間 8時30分から11時30分
- 診療時間 8時30分から17時
急患については、この限りではありません。
- 再診については原則、予約制にしております。
- 呼吸器科については、7診を予約制とし、予約外診療は6診にておこないます。

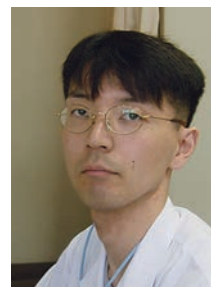
新任ドクター紹介

①専門分野 ②自分の〇 ③自分の× ④余暇の過ごし方 ⑤オススメ健康法 ⑥当院の印象



いぬい ひろ ゆき
乾 宏 行

- ①呼吸器科
- ②比較的マメ(?)
- ③気が短い
- ④ゴルフをしたり、屋外で過ごすことが好き
- ⑤ストレスをためないように体を動かすことを心掛けている
- ⑥広々としていてゆったりとしている。その点で今まで働いたことのないタイプの病院です。



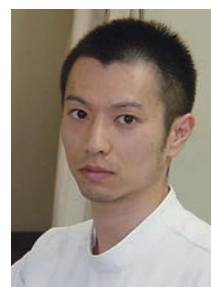
いの やすし
猪野 靖

- ①循環器内科
- ②比較的気が長い
(と自分では思っています。)
- ③救急が来ると、気が短くなることもある。(テンパる)
- ④嫁、子供と公園に散歩に行くこと。
- ⑤散歩
- ⑥自然がいっぱい(虫もいっぱい)



はた だ みつ とし
畑田 充 俊

- ①心臓血管外科
- ②どこにでもなじめます
- ③今まで、総合病院ばかり、従事してきたために専門分野以外知識が乏しい
- ④大学院生、温泉めぐり、フィッシング
- ⑤日高町の「みちしおの湯」
- ⑥小さいが活気があると思いました。



くり やま たか ゆき
栗山 雄 幸

- ①心臓血管外科
- ②この病院の医師としては、一番若いと思います。
- ③特にありません。
- ④料理
- ⑤ヨガ等
- ⑥コメディカルの方を含め、みなさん丁寧な方が多いと思います。明るい職場であると思います。

COPD(慢性閉塞性肺疾患)

という病気について

独立行政法人国立病院機構和歌山病院

呼吸器科医長 乾 宏行



COPDという言葉はまだあまり聞きなれない病名と感じられる方が多いと思いますが、以前は**肺気腫、慢性気管支炎**と呼ばれていました。現在慢性の呼吸器疾患としては最も注目されている疾患です。COPDは、今後数十年間是有病率、死亡率がさらに全世界的に増加することが予測されており、最近の日本での疫学調査によると、40才以上の日本人の約530万人が罹患していることが明らかとなり、近年増加の一途をたどり、2020年には日本の死亡順位の4位になると推測されています。

COPDの原因としては、**90%は喫煙が関連**しているといわれています。その他職業上の粉塵および化学物質、家庭での調理や暖房燃料からの煙の吸入のリスクファクターがある場合が考えられています。



症状としては**慢性の咳、慢性の喀痰**、進行性・持続性で運動時や呼吸器の感染時に増悪する**呼吸困難**を認めます。COPDの診断はこれらの症状、喫煙歴などからCOPDが疑われ肺機能検査を行って診断されます。ここで重要なことは検診などのレントゲン検査だけでは多くの場合COPDを診断できません。そのため早期のうちに診断することが困難となるため、**喫煙者**では特に慢性の咳や息切れを認める場合はレントゲン検査とともに肺機能検査をする必要があります。

COPDの治療は重症度により吸入療法を中心に薬物を使用しますが、最も重要なことは喫煙中であればまず**禁煙**をする必要があります。図はタバコによる閉塞性肺機能障害の経年的変化を表しています。タバコに感受性がある人の場合、喫煙を続けると徐々に肺機能が低下し、最終的には息切れなどの症状を認め酸素療法が必要となります。しかしどの時点で禁煙を開始しても肺機能の低下のスピードが減速することがわかっており、禁煙を早く開始することの重要性がわかります。

軽症のCOPDは疑わないとなかなか診断されないことがあり、前記の症状のある方は一度**肺機能検査**を受けてみてください。なお禁煙相談について近く禁煙外来として開設予定です。

